

平成30年11月7日

ファスニングジャーナル(2面)に掲載されました

電話対応京都府大会で 審査委員特別賞を受賞

日東精工の福島氏

日東精工(株)(本社〓京都府綾部市。材木正己社長)では、去る10月2日にハートピア京都にて開催された「平成30年度全国電話対応コンクール京都府大会」において、同社制御システム事業部の福島涼太氏が、審査委員

特別賞を受賞した。

このコンクールは、公益社団法人日本電信電話ユーザ協会が主催。各企業の社員の電話対応と応対技術のレベルアップを通じて、顧客満足経営の推進を図るための人材育成を目的に毎年実施され

ている。同社においては正しい言葉遣い、マナー、顧客満足度を高める対応を身につけるため、

入社1、2年目の若手社員の希望者を対象に6月から研修会を実施し、京都府大会を目指して取り組んできた。9月の京都府予選会には同社から計九名が参加。京都府下の一五五名による予選を勝ち抜いた同社四名(北京都予選会最多人数)を含む計四二名が京都府大会

にチャレンジし、福島涼太氏が審査委員特別賞を受賞に至った。

テレフォンオペレーターなど電話サービスを本業としている参加者が多くを占める中、福島氏は工場にて流量計の製造業務に従事しており電話対応業務を日常的に行っているわけではないものの、明るい対応と自然な応対が評価をされての受賞になっている。

2016年にも同社の当時新入社員が今回と同じく審査委員特別賞を受賞しており、同社の男性社員としては2度目の受賞になる。同社では今回の受賞を振り返って「コールセンターの人手不足をAI(人工知能)で補う企業も増加傾向にある中、聞き手に心を届けるのは人が基本です。来年は全国大会出場を目指し、積極的な取り組みを促進していきます」とコメントしている。